2021年度 課題研究会活動成果報告書

課題研究会名： 歯科医療情報における交換・連携に関する研究会

設置期間： 2019/04-2022/03

代表幹事の氏名・所属：

　　玉川　裕夫　　前大阪大学歯学部附属病院

幹事の氏名・所属：

　　森本　徳明　　矯正歯科　森本

　　佐々木好幸　　東京医科歯科大学

　　齊藤　孝親　　日本大学松戸歯学部

　　鈴木　一郎　　新潟大学医歯学総合病院

　　永松　　浩　　九州歯科大学

活動成果の概要：

　当課題研究会では，歯科領域の標準化の取組みに継続して参画しており，厚生労働省で検討されてきた”口腔診査情報標準コード”（資料1）の策定に関わってきた．その結果，2021年3月26日付で同コードが厚生労働省標準規格に採用され，2021年度は厚生労働省事業を通してこの標準コードの実効性と普及に関する活動を行った．

１）厚生労働省実証事業

　2021年度の厚生労働省実証事業のタイトルは，歯科情報の利活用推進事業（歯科診療情報による身元確認のためのデータベースに関する検証等）で，株式会社NTTデータが受託した．本実証事業では，口腔診査情報コードの標準化作業を一歩進めて，生前のリアルデータとして歯科診療所から支払基金に送信される内容を標準コードにマッピングして収集し，これらのコードに種々の修飾を段階的に加えた内容を死後データとしてマッチング精度を検証した．度数化累積値を用いて死後データが生前データの１％に含まれている確率を比較すると，従来手法がおよそ0.6であったのに対し，およそ0.8に上昇した．詳細は厚生労働省の下記サイト（資料２）で公開している．

https://www.mhlw.go.jp/content/10800000/000936322.pdf

　また，2022年2月20日には，”令和3年度歯科情報の標準化に関する研修会”をWeb形式で実施した．医療情報システム開発センター理事長の山本隆一先生をはじめ，東北大震災をきっかけに歯科診療の標準化に携わってこられた東北大学理事・副学長の青木孝文先生とともに，本課題研究会代表幹事の玉川裕夫が演者を務めた．

　研修会の冒頭，厚生労働省ならびに歯科医師会からも挨拶があり，歯科関係のベンダ各社に加えて大学関係者の参加もあったことから，今後の普及を促進することができたと考えられる．日本歯科医師会のサイトで，研修会の講演内容の動画と質疑応答内容を公開しており，資料の参照先を記載した（資料３）．

２）標準歯科病名マスターと標準歯式コード仕様

　本課題研究会の代表幹事ならびに全幹事（佐々木好幸，齊藤孝親，鈴木一郎，永松　浩，森本徳明）は，一般財団法人医療情報システム開発センターの歯科分野の標準化委員会の委員として，厚生労働省規格である標準歯科病名マスター（HS013）と標準歯式コード仕様（HS033）のメンテナンスに継続して関与している．

３）口腔診査情報標準コードのメンテナンス委員会

　上記2つの標準コードに加え，本研究会の代表幹事ならびに幹事２名（齊藤孝親，鈴木一郎）が，一般財団法人医療情報システム開発センターに設けられた口腔診査情報標準コードメンテナンス委員会に参加している．

資料1　口腔診査情報標準コード\_Ver101

<https://www.jda.or.jp/jda/business/pdf/Oral-examination-Information-Standard-Code.pdf>

資料2　令和3年度「歯科情報の利活用推進事業（歯科診療情報による身元確認のためのデータベースに関する検証等）」事業報告書（株式会社NTTデータ）

資料３　「歯科情報の標準化に関する研修会」の動画

　https://www.jda.or.jp/dentist/program/business-r03.html

活動成果の発表：

［その他］　　計２件

1）株式会社NTTデータ，令和3年度「歯科情報の利活用推進事業（歯科診療情報による身元確認のためのデータベースに関する検証等）」事業報告書，

<https://www.mhlw.go.jp/content/10800000/000936322.pdf>, 2022 年3月.

2）日本歯科医師会，歯科情報の標準化に関する研修会，

<https://www.jda.or.jp/dentist/program/business-r03.html>, 2022年2月28日